

やよい さいそうぼ  
**—ここには、弥生の再葬墓と**  
 じょうもん せきぼう こんせき  
**縄文の石棒をつくっている痕跡が**  
**あるはずだ…**

きっかけは地主の菊池榮一さん（故人）がみつけた  
 ひとつのツボとつくりかけの石棒が、  
 1995（平成7）年に大宮町歴史民俗資料館（当時）に  
 寄贈されたことに はじまります。



P30 ~ 31 の  
 図の範囲

地中レーダー  
 探査計測範囲  
 2015（平成27）年  
 5月25日～27日

ねんびょう  
**いずみ年表**

きげんぜん 5 せいき  
 紀元前 5 世紀

きげんぜん 4 せいき  
 紀元前 4 世紀

きげんぜん 3 せいき  
 紀元前 3 世紀

きげんぜん 2 せいき  
 紀元前 2 世紀

BC600

BC400

BC300

BC200

← 縄文時代

弥生時代

前期

中期前半

中期後半

いずみさかした いせき  
**[泉坂下遺跡]**  
 いずみさかした じょうもん じだい ばんき  
 泉坂下では縄文時代晩期の  
 たてあな じゅうきよあと  
 竪穴住居跡がみつまっている

ぜんき とき で  
 前期の土器が出ている

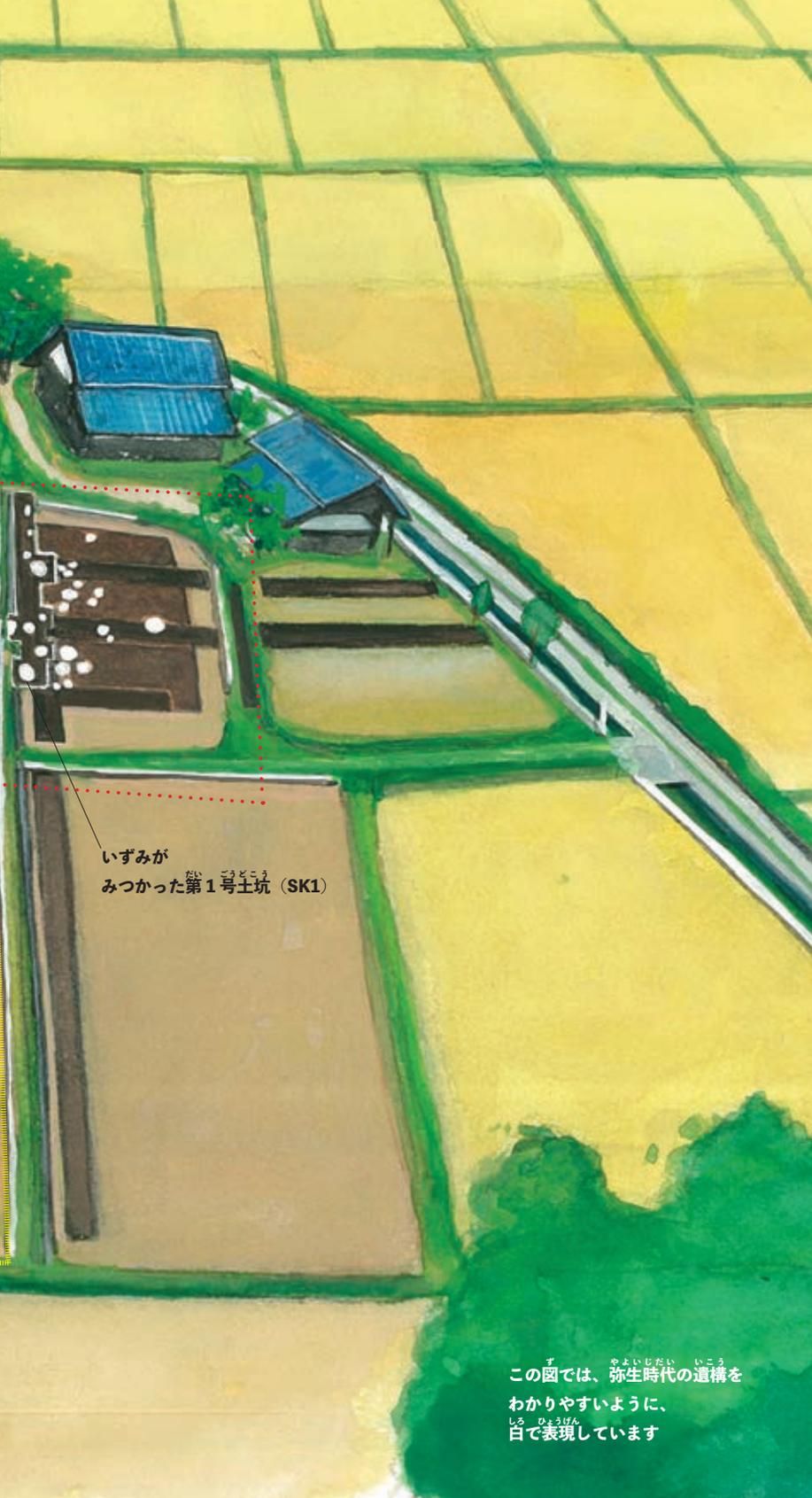
いずみさかした さいそうぼ  
**泉坂下の再葬墓**

いずみさかした  
 泉坂下では、この  
 じき いこう いぶつ  
 時期の遺構・遺物は  
 みつかっていない

ひたちおみや しな  
**[常陸大宮市内]**

かせん ちゅうりゅういき いせき ぶんぶ  
 河川の中流域に遺跡が分布

あかいわ いせき  
 赤岩遺跡



いずみが  
みつかった第1号土坑 (SK1)

この図では、弥生時代の遺構を  
わかりやすいように、  
白で表現しています



みつかったばかりの「いずみ」(第1号土坑 土器1)

石棒を研究している地元の考古学者・  
鈴木素行氏は、2006 (平成 18) 年研究の  
ため仲間たちと発掘調査を行った。

そこでみつかったのが、たくさんの再葬墓だ。  
人面付土器いずみも、この発掘の初日にみつ  
かったんだ。

貴重な遺跡が発見されたので、常陸大宮市で  
は2012 (平成 24) ~ 2015 (平成 27) 年、  
教育委員会によって遺跡のひろがりなどを  
確認する発掘調査が行われたよ。



いずみさかしたいせき  
泉坂下遺跡の  
報告書



詳しくは報告書をみてね!



後期の土器 (十王台式土器)  
が出ている

山根遺跡・梶巾遺跡  
坪井上遺跡・富士山遺跡  
上岩瀬富士山遺跡

いづみさかした

# 泉坂下ワールド

<sup>いま</sup>「今から <sup>ねん</sup>2300 年ほど昔の、<sup>むかし</sup>久慈川に <sup>くじがわ</sup>玉川が <sup>たまがわ</sup>流れこむあたり。

<sup>しん</sup>親せき <sup>どうし</sup>同士の <sup>けん</sup>1～4 軒ほどの <sup>いえ</sup>家が、

<sup>さんさい</sup>山菜や <sup>き</sup>木の <sup>み</sup>実の <sup>ほうふ</sup>豊富な <sup>しんりん</sup>森林を <sup>じぶん</sup>自分たちの <sup>なわば</sup>縄張りとして <sup>ちい</sup>小さな

<sup>しゅうらく</sup>集落をつくっています。」

こうはいしっち  
後背湿地

やよいじだい くじがわ  
弥生時代の久慈川の  
りゅうろ  
流路はわかっていない

# た 田んぼはあったの？

いばらきけんない やよいじだい た あと ちようさいい いずみさかした いせきしゆうへん  
茨城県内で、弥生時代の田んぼの跡の調査例はなく、泉坂下遺跡周辺

からもまだみつからない。

いずみさかした ひようめん あと  
でも泉坂下のツボの表面には、モミの痕がついていたから、

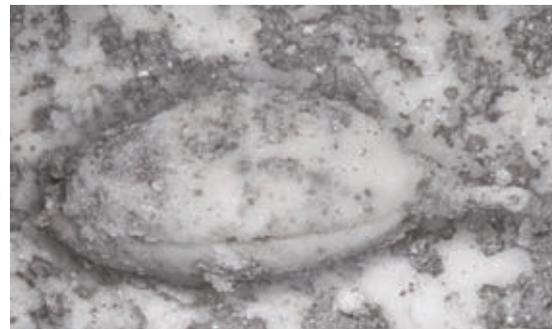
いずみさかした やよいじん し  
泉坂下の弥生人はイネを知っていたことがわかる。

どき  
土器をつくる時、まわりにモミが散らばっていた。

…とするとやはりコメをつくっていたのかもしれない。

すいでん  
水田をつくるとしたら、後背湿地だろうか？

かだい  
これからの課題のひとつだ。



だい 26 号土坑の土器 10 に残っていたモミの痕。

くぼみにシリコンを流し入れ、型をとったもの。



オニグルミ



トチノキ



ムクロジ



だい 3 号土坑覆土よりイノシシ  
頭部底部破片？がみついている

2006 年調査 II 区 II 層よりシカ  
肢骨滑車部がみついている

だい 26 号土坑の土壌より、オニグルミ・ムクロジ・トチノキ・クリの炭化殻が多量にみつかった。

また、イネ・オオムギ・コムギ・ヒエ近似種・アサ・マメ科（ダイズ類？）の草本類の炭化種実もみついている。

# いずみさかしたいせき 泉坂下遺跡って、教科書の弥生と違うみたい。

そうなんだ。教科書にある、銅鐸や鉄剣、水田稲作や高い建物はどうやら日本の限られた場所ではみられない。弥生文化はもっと地域ごとにバラエティーに富んだ文化なんだね。

ちなみに日本列島でいちばんはじめに「弥生時代」を迎えたのは、北部九州だよ。朝鮮半島や中国大陸とすごく近い地域だ。九州から遠い泉坂下遺跡は、教科書で習う「弥生時代」とは、ちょっと違うんだ。どう違うのか比較するために、全国のおもな弥生時代の遺跡の位置や遺物を紹介するよ。



韓国で発見された 北部九州産のツボ



板付遺跡 (福岡県) の 水田跡に残っていた 足跡



佐賀県 詫田西分遺跡 (佐賀県) の 出土人骨から弥生人が復元 されている

沖縄は 貝塚時代 がつづく



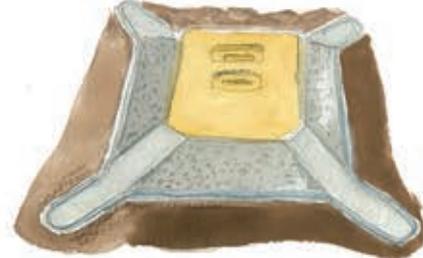
木綿原遺跡



朝鮮半島

交流がさかん

- 原の辻遺跡
- 志賀島 (福岡県) で発見された金印
- 板付遺跡
- 須玖岡本遺跡
- 吉野ヶ里遺跡
- 菜畑遺跡
- 銅矛
- 塔ノ首遺跡 (長崎県)
- 板付遺跡 (福岡県) の炭化米
- 吉野ヶ里遺跡 (佐賀県)
- 広田遺跡



西谷3号墳 (四隅突出型墳丘墓) (島根県) 山陰や北陸のみでつくられた、ヒトデのような形の墳丘墓

唐古・鍵遺跡 (奈良県) の土器に描かれた、高い建物



- 妻木晩田遺跡
- 加茂岩倉遺跡
- 青谷上寺地遺跡
- 八日市場地方遺跡
- 荒神谷遺跡
- 唐古・鍵遺跡
- 朝日遺跡
- 土井ヶ浜遺跡
- 楯築遺跡
- 東奈良遺跡
- 纏向遺跡
- 池上曾根遺跡
- 紫雲山遺跡
- 田村遺跡



朝日遺跡 (愛知県) からみつかった土器  
朝日遺跡では、敵からムラを守るために、溝や柵をめぐらせた上、さらにとがった杭をたくさん地面に打ち込んでいる

銅鐸 羽曳野市西浦出土 (大阪府)

鉄斧 中国東北部でつくられた 鍛造の斧 (復元イメージ) 比恵遺跡 (福岡県)

イモガイのブレスレット 宮の本遺跡 (長崎県)

やよいじだい 弥生時代って？：日本において、縄文時代に続く時代。次の時代は古墳時代。

てつぞく 鉄鏃  
なかたかせかんのんやまいせき  
中高瀬観音山遺跡  
ぐんまけん (群馬県)

まがたま 勾玉  
みくもみなみこうじ  
三雲南小路遺跡  
ふくおかけん (福岡県)

すいでんいなさく 「水田稲作」  
にほんかい 日本海ルートでいっきに北上！



うす 有珠モシリ遺跡  
ほっかいどう (北海道) では、  
なんどうゆらい  
南島由来のイモガ  
イのプレスレット  
がみつまっている



ゆふねざわいせき  
湯舟沢遺跡  
いわてけん (岩手県) の  
土器には、  
ニワトコ・イネ・  
キビなどの圧痕  
が残る

いずみかさしいせき 泉坂下遺跡やその周辺では、北関東を中心に「再埋葬」という  
しゅうへん 独自の文化が広がっていた (再埋葬については 12 ページを見てね)



やよいしきどき やよいじだい  
「弥生式土器」「弥生時代」の  
ゆらい 由来になったツボ。  
やよいちょういせき 弥生町遺跡 (東京都)



かんごうしゅうらく 環濠集落

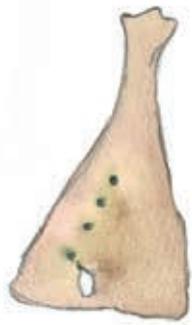
おおつかいせき 大塚遺跡 (神奈川県)  
ちようけい 長径 200 m、たんけい 短径 130 m の濠の中に、じき 時期は  
こと 異なるが約 90 軒の竪穴住居跡と約 10 棟の  
たかゆかそうこ 高床倉庫が密集、すぐ南に 25 基の方形周溝墓・  
さいかちどいせき 歳勝土遺跡がある



いわたんじんまえいせき  
岩名天神前遺跡  
ちばけん (千葉県)  
はじめて再埋葬が  
かくにん 確認された遺跡  
p12 参照



やよいけん 弥生犬「海渡君」  
ほうけいしゅうこうぼ 方形周溝墓の下からみつかった犬をもとに  
ふくけん 復元。四国犬を参考としている  
いぬ 亀井遺跡 (大阪府)



ぼっこつ 卜骨  
からと 唐古・鍵遺跡  
ならけん (奈良県)

やよいじだい 弥生時代、日本の中はバラバラにみえる。さまざまなスピードで、いろいろな文化がめまぐるしく変化している。発掘調査によって新しいことがどんどんわかってきている。だから弥生時代の研究はとってもおもしろい。まだまだ、わかっていないことがたくさんあるよ。稲作とか、青銅器の技術とか、教科書の「弥生文化」がどんな風に広まっていったか、今も研究が進められている。つまり、まだ弥生時代像は動き続けているんだ！ 近い将来、教科書が書き換えられるかもしれないね。

# いばらきけんない 茨城県内の やよいじだい 弥生時代

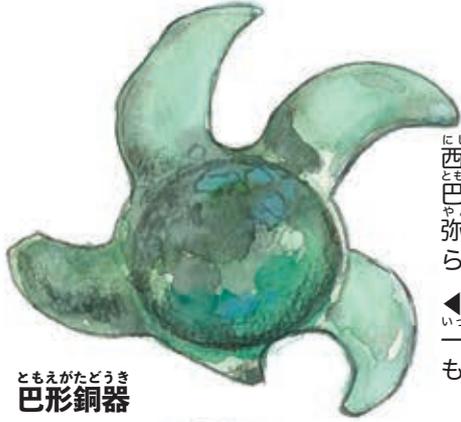
このページでは、<sup>いばらきけんない</sup>茨城県内のおもな<sup>やよいじだい</sup>弥生時代の<sup>いせき</sup>遺跡を紹介するよ。  
<sup>ほくぶきゅうしゅう</sup>北部九州に約500年遅れて、<sup>ねんおく</sup>紀元前4世紀ごろ、この地域では<sup>やよいじだい</sup>弥生時代

がスタートする。

<sup>いずみさかした</sup>泉坂下遺跡の<sup>さいそうぼ</sup>再葬墓は、<sup>やよいじだいちゅうきぜんはん</sup>弥生時代中期前半につくられている。

<sup>けんない</sup>県内では何箇所も<sup>さいそうぼ</sup>再葬墓がみつかっていて、そのうちの3遺跡は<sup>いせき</sup>常陸大宮市内なんだ。

もしかすると、<sup>さいそうぼぶんか</sup>再葬墓文化の中心地なのかもしれないね！



ともえがたどうき  
巴形銅器

<sup>にしにほん</sup>西日本でつくられる、<sup>ともえがたどうき</sup>巴形銅器が県内で  
<sup>やよいじだいごうき</sup>弥生時代後期の住居跡等から  
 みつかっている  
 ◀<sup>みやだいらいせき</sup>宮平遺跡（石岡市）  
<sup>いっほんまついせき</sup>一本松遺跡（大洗町）から  
 もみつかっている



<sup>ともえがたどうき</sup>巴形銅器のモデルは<sup>いしおかし</sup>スイジガイと<sup>かんが</sup>考えられている  
<sup>こふんじだい</sup>古墳時代には、<sup>たて</sup>盾や<sup>や</sup>矢を<sup>おさ</sup>納める<sup>ゆざ</sup>鞆の<sup>かざ</sup>飾り<sup>かなく</sup>金具に<sup>つか</sup>使っている  
<sup>さくらばいせき</sup>桜馬場遺跡（佐賀県）<sup>さか</sup>径約6cm



スイジガイ



おざかたいせき  
● 女方遺跡

きたはらいせき  
● 北原遺跡

ほらだいいせきぐん  
原田遺跡群 ●

みやだいらいせき  
● 宮平遺跡

ねもと じんやしきいせき  
根本・陣屋敷遺跡 ●

とのうちいせき  
殿内遺跡 ●

きたきだいいせき  
● 木滝台遺跡

どうぞく  
銅鏃

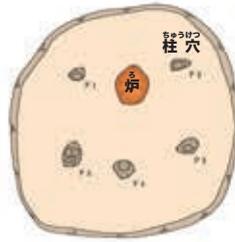
ふなくぼいせき  
船窪遺跡  
（ひたちなか市）

## いずみさかした やよいじん 泉坂下の弥生人はどんなイエに住んでいたの？

<sup>ざんねん</sup>残念ながら、<sup>いずみさかした</sup>泉坂下遺跡から<sup>やよいじだい</sup>弥生時代の<sup>じゅうきよ</sup>イエ（住居）の跡はみつからないんだ。  
<sup>ほか</sup>他の<sup>やよいじだい</sup>弥生時代の<sup>いせき</sup>遺跡を<sup>さんごう</sup>参考に<sup>しょうかい</sup>紹介すると、<sup>ゆか</sup>床を<sup>ほ</sup>掘りくぼめた<sup>たてあな</sup>竪穴住居で、<sup>ろ</sup>炉をつかつ  
 ていたよ。将来、<sup>いずみさかした</sup>泉坂下の人々の<sup>ひとびと</sup>イエがみつかるといいね！

◀<sup>とろいせき</sup>登呂遺跡の<sup>ふくげんじゅうきよ</sup>復元住居と  
<sup>ふくげんたかゆかしきそうこ</sup>復元高床式倉庫▼

<sup>はつくちようさ</sup>発掘調査では、<sup>たてあな</sup>竪穴住居跡は<sup>ほ</sup>掘りくぼめられた跡しか<sup>みつ</sup>みつか  
 からない。<sup>けんちくしか</sup>建築史家・<sup>せきのまさるし</sup>関野克氏によって、<sup>いごう</sup>遺構や<sup>しゅつどぶざい</sup>出土部材  
 をもとに<sup>たかどの</sup>高殿や<sup>はにわ</sup>埴輪、<sup>どうたくかいが</sup>銅鐸絵画を<sup>さんごう</sup>参考にし、<sup>いせき</sup>はじめて遺跡  
 の<sup>たてもの</sup>建物が<sup>ふくげん</sup>復元された。



◀<sup>たてあな</sup>竪穴住居跡  
<sup>ふじやまいせき</sup>（富士山遺跡・  
<sup>ひたちなおみやし</sup>常陸大宮市）



なかだいでいせき ● 中台遺跡  
 おのてんじんまえいせき ● 小野天神前遺跡  
 きたかたいでいせき ● 北方遺跡  
 いずみさかしたいでいせき ● 泉坂下遺跡  
 いわちとまえいせき ● 岩本前遺跡  
 じゅうおうだいでいせきぐん ● 十王台遺跡群  
 あしあらいでいせき ● 足洗遺跡  
 じゅうまんばらいでいせきぐん ● 十萬原遺跡群  
 かいごいでいせき ● 海後遺跡  
 おおどいでいせきぐん ● 大戸遺跡群  
 ひがしなかねいでいせき ● 東中根遺跡  
 さしふいでいせき ● 差込遺跡  
 たかのすいでいせき ● 鷹ノ巣遺跡  
 だんごうちいでいせき ● 団子内遺跡  
 ひがま いっぽんまついでいせき ● 髭釜・一本松遺跡



ゆうかくせきふ  
**有角石斧**  
 にしほらいでいせき  
 西原遺跡  
 (ひたちなか市)

さいそうぼ じだい ねん つづ  
 再葬墓の時代は100年くらい続いた。  
 いずみさかしたいでいせき ねん  
 泉坂下遺跡から100年くらいたって、  
 やよいじだいちゅうきこうはん  
 弥生時代中期後半、  
 あかいわいでいせき  
 赤岩遺跡でムラがつくられている。

さらに200年ねんご後の弥生時代後期  
 県内では大きな動きがあった。  
 かくち だいきほ  
 各地に大規模なムラがつくられるよう  
 になったんだ。

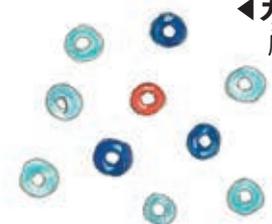
(ひたちおおみやしな い つぽいうえいせき  
 常陸大宮市内でも、坪井上遺跡や  
 ふじやまいせき やよいじだいちゅうき  
 富士山遺跡など弥生時代後期のムラの  
 あと  
 跡がみつまっているよ)。

てつぷ  
**鉄斧**  
 だんごうちいでいせき おおあらいまち  
 団子内遺跡 (大洗町)

東中根大和田遺跡  
 (ひたちなか市) ▶



だま  
**ガラス玉**  
 たかのすいでいせき  
 鷹ノ巣遺跡 (ひたちなか市)



けんなん ひろ こうき  
 県南に広がる後期の  
 とき かみいなしきどき  
 土器、「上稲吉式土器」  
 フォームは  
 じゅうおうだいしきどき かめ  
 十王台式土器よりも甕  
 ちか びんぶ  
 に近くて、口縁部に小  
 さな つぶ状の粘土をは  
 りつけているのが特徴。  
 ほんとう  
 原出口遺跡 (土浦市)



かみいなしきどき  
**上稲吉式土器**

やよいじだいちゅうき だいひょう どき  
 弥生時代後期を代表する土器が、  
 じゅうおうだいしきどき  
 十王台式土器だ。

この土器は、首のところどくにクシのような道具で  
 たて えんごもん こま もんよう  
 縦のスジや円弧文など細かい文様をつけ、  
 どうぶ ほそ なわ もんよう  
 胴部には細い縄の文様をつけてあるのが  
 とくちよう  
 特徴。

かたち ども かめ  
 形も、甕なのかツボなのか、  
 いまひとつはっきりしない、  
 ふしぎなどき  
 不思議な土器なんだ。

やよいじだいちゅうき けんきゅう げんざいしんこうけい  
 弥生時代の研究は現在進行形。  
 きみ やよいじだいちゅうき  
 君も弥生時代を研究してみないか？



じゅうおうだいしきどき  
**十王台式土器**

かじほいせき  
 梶巾遺跡  
 ひたちおおみやし  
 (常陸大宮市)

# いずみさかしたいせき 泉坂下遺跡は、

# やよいじだい はか いせき 弥生時代のお墓の遺跡だ！

やよいじだい さいそうぼ  
弥生時代には再葬墓だけじゃなく、  
いろいろなタイプのお墓はかがはかつはかくはからはかれてはかいた。  
その一部を紹介するよ。お墓はかのはか変化へんかは、  
文化ぶんかのちがへんかいや変化へんかと考へんかえらへんかれる。  
だから、お墓はかの研究けんきゅうも弥生文化やよいぶんかの研究けんきゅうに  
とじゅうようって重要なテーマのじゅうようひとつなんだ。



## 再葬墓

【さいそうぼ】

やよいじだいさいそうぼ  
(弥生時代再葬墓) ※

いちどどそう まいそう ほね  
一度土葬などで埋葬し骨だけに  
ないたった遺いた体をほ掘だり出いして、一部  
をツポに入れて再び穴に埋葬する。  
穴には1～15個ほどのツポが  
収められる。

じょうもんじだい ほか じだい  
※縄文時代など、他の時代でも  
再葬墓はつくられるので、こよぶこももある。

けんない ひたちのおみやし  
県内では常陸大宮市の  
いずみさかしたいせき おのてんじんまえいせき  
泉坂下遺跡、小野天神前遺跡、  
なかだい いせき ほか おさかたいせき  
中台遺跡の他、女方遺跡  
(筑西市)、海後遺跡 (那珂市)、  
などがある。

にし あいちけん ひがし いわてけん  
西は愛知県から東は岩手県まで  
ひがしにほん ひろ はんい やく  
の東日本の広い範囲に、約140  
いせき ぶん ぶん  
遺跡が分布し、なかでも茨城・  
とちぎ ふくしま けん おお  
栃木・福島3県に多い。  
ふくそうひん たまるい  
副葬品として玉類。

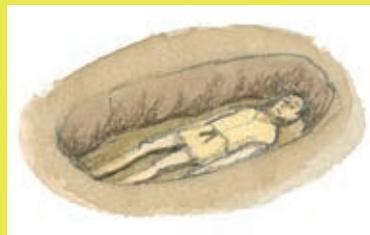


## 土器棺墓

【どきかんぼ】

おおがた かめ ひつぎ どころ  
大型の甕やツボを棺にし、土ど壤ろ  
に埋葬する。子供こどもの墓はかと考かんがえら  
れている。

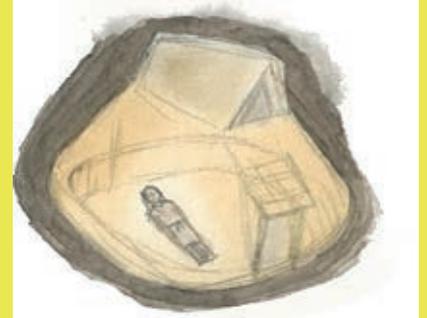
あしあらいせき きたいばらきし  
足洗遺跡 (北茨城市)、  
ふじやまいせき ひたちのおみやし  
富士山遺跡 (常陸大宮市)、  
にしはらいせき つちうらし てんじんばらいせき  
西原遺跡 (土浦市)、天神原遺跡  
(福島県) など。副葬品として、  
たまるい かいわ  
玉類、貝輪。



## 土壙墓

【どこうぼ】

つち ほ まいそう どそう  
土を掘って体を埋葬する (土葬)  
お墓はか。県内では、差洗遺跡 (ひ  
たちなか市) で、列状に並んだ  
どこうぼぐん  
土壙墓群がみついている。  
どこう ひょうき ふくそうひん  
土坑とも表記する。副葬品とし  
たまるい  
て玉類。



## 屋内墓

【おくないぼ】

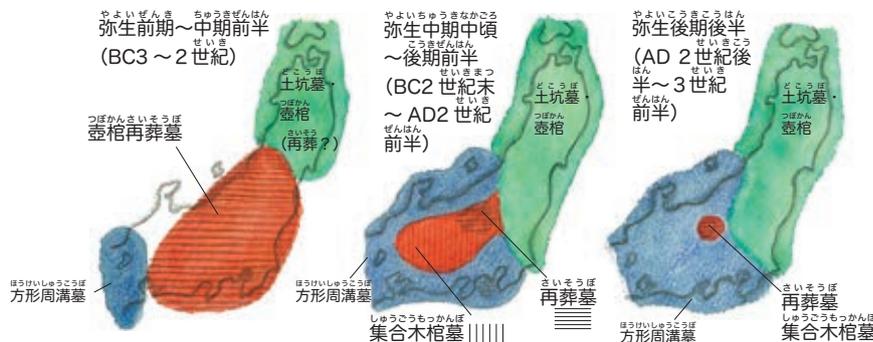
たてもの なか あな どころ ほ  
建物の中に穴 (土坑) を掘っ  
て、遺体を埋葬する。イエの床に  
直接埋葬する場合もあったかもしれ  
ない。

まいそう あと ひ  
埋葬した後、イエに火をつけてもや  
してしまう場合もある。

けんない いっぽんまついせき おおあらいまち  
県内では、一本松遺跡 (大洗町) や  
にのさわ いせき みとし おおどしもこう  
二の沢B遺跡 (水戸市)、大戸下郷  
いせき いばらきまち たかのすいせき  
遺跡 (茨城町)、鷹ノ巣遺跡 (ひた  
ちなか市) などに推定されており、  
ながのけん えのきだいせきなど じんこつ  
長野県の榎田遺跡等では人骨も  
けんしゆつ  
検出されている。

ふくそうひん たまるい いっぽんまついせき  
副葬品として玉類、一本松遺跡で  
ともえがたどうき ふくそうひん  
は巴形銅器も副葬品と考えられる。

やよいじだい ちゅうきぜんはん  
弥生時代中期前半、さ  
かんにつくられていた  
さいそうぼ  
再葬墓もやがてつくれ  
なくなる。なぜだろう。



ひがしにほんやよいぼせい ひろ  
東日本弥生墓制の広がり  
と  
変遷  
こくりつれきしんぞくほくぶつかんへん  
(国立歴史民俗博物館編  
1999『新 弥生紀行—  
きた もり みなみ うみ  
北の森から南の海へ—』  
あさひしんぶんしゃ さくせい  
朝日新聞社をもとに作成)



## 甕棺墓

【かめかんぼ】

せんよう おお かね いたい  
専用の大きな甕に遺体をい  
れ、口を合わせて埋葬する。  
くち あ まいそう  
合口甕棺ともいう。北部九州  
あわせぐちかめかん ほくぶきゅうしゅう  
でみられる。副葬品で剣などが  
ふくそうひん けん  
一緒に埋葬される。  
いっしょ まいそう  
さがけん よしの がり し  
佐賀県の吉野ヶ里遺跡がよく知  
られていた。  
けんない  
県内ではみられない。



## 支石墓

【しせきぼ】

きよせき もち はか ほくぶきゅうしゅう  
巨石を用いた墓で、北部九州  
ちゅうしんち ちようせんぱんとう  
でみられ、中心地は朝鮮半島。  
ちゅうごくとうほくちく ひろ けんない  
中国東北地区にも広がる。県内  
ではみられない。  
しせきぼ せつかん もつかん  
支石墓の下には、石棺や木棺が  
う ら かんぼ  
埋められている。甕棺墓もある。



ちようせんぱんとう カンファド しせきぼ  
(朝鮮半島・江華島の支石墓)



## 方形周溝墓

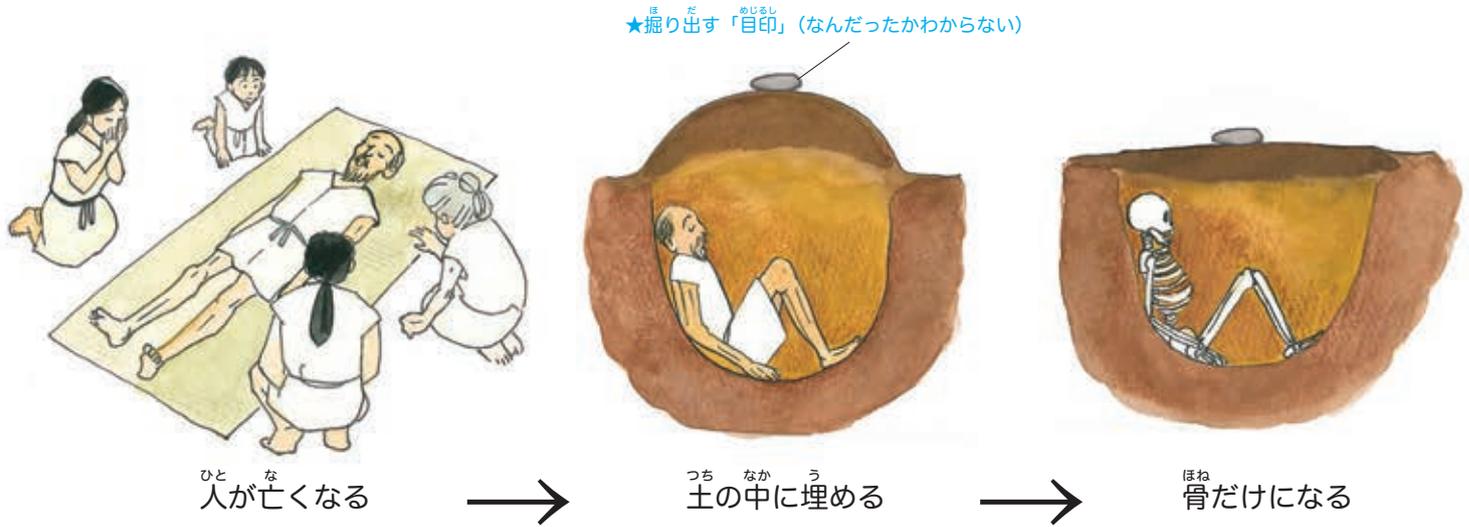
【ほうけいしゅうこうぼ】

しかく みぞ なか ひく つか  
四角く溝をまわした中に低い塚  
ちゅうおう いたい まいそう  
をつくり、中央に遺体を埋葬  
えんけい ぜんぼうこうえんけい  
している。円形、前方後円形、  
ぜんぼうこうほうけい しゅうこうぼ  
前方後方形の周溝墓もある。  
けんない こぶんじだい  
県内では、古墳時代にならない  
とつくりされない。瑞龍古墳群  
ずいりゅうこぶんぐん  
(常陸太田市) などがみつかって  
いる。



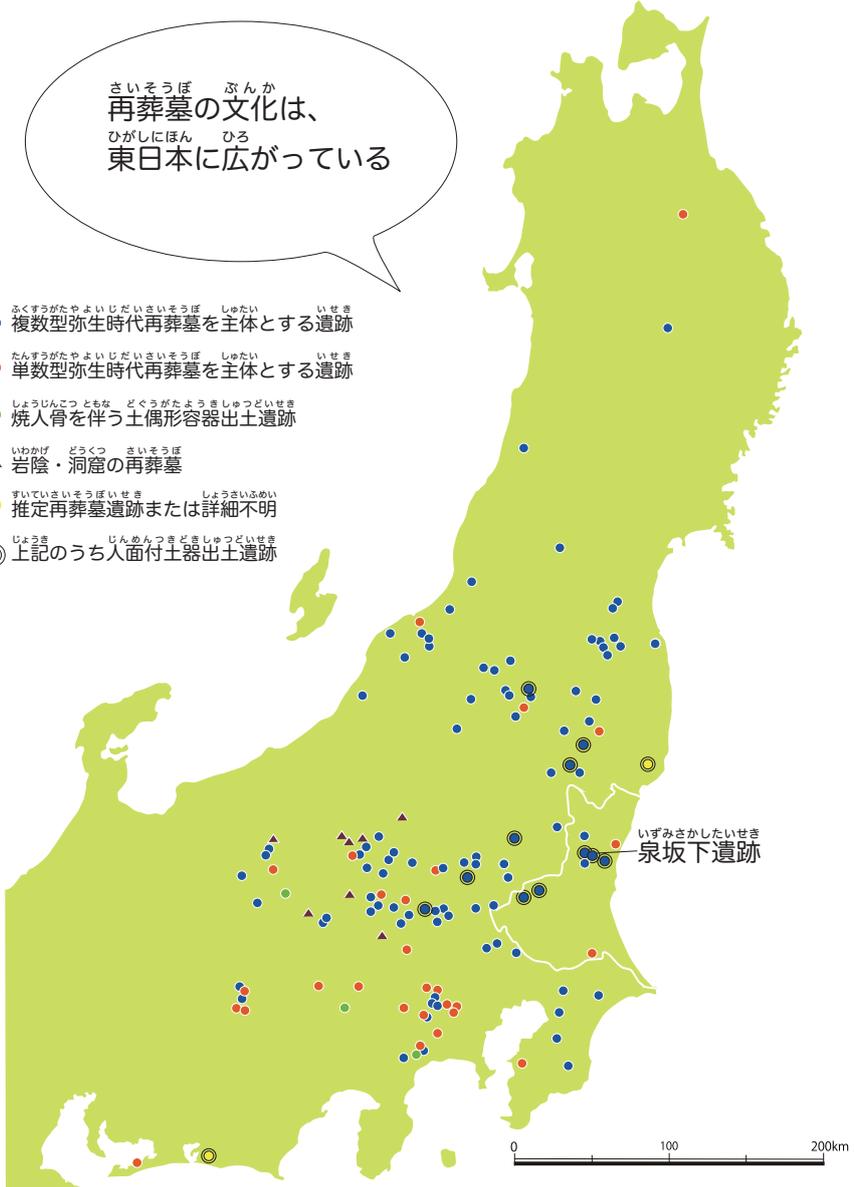
# さいそうぼっていかいめい 再葬墓徹底説明！！

いちど埋葬し、骨になったご先祖さまを掘り出して、その骨をツボに入れ、いくつかのツボと一緒に再び穴へ埋める、これが再葬墓。再葬墓のつくられ方を想像してみました。

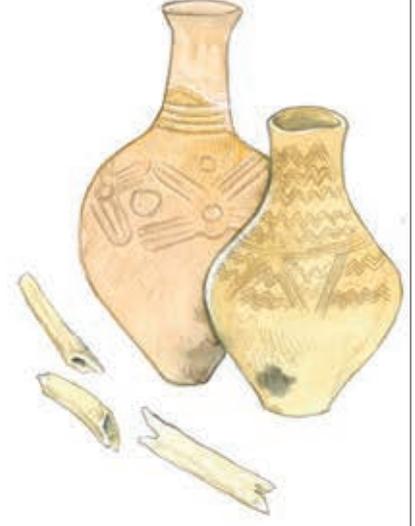


さいそうぼの文化は、  
東日本に広がっている

- 複数型弥生時代再葬墓を主体とする遺跡
- 単数型弥生時代再葬墓を主体とする遺跡
- 焼人骨を伴う土偶形容器出土遺跡
- ▲ 岩陰・洞窟の再葬墓
- 推定再葬墓遺跡または詳細不明
- ◎ 上記のうち人面付土器出土遺跡



## さいそうぼ再葬墓 ストーリー

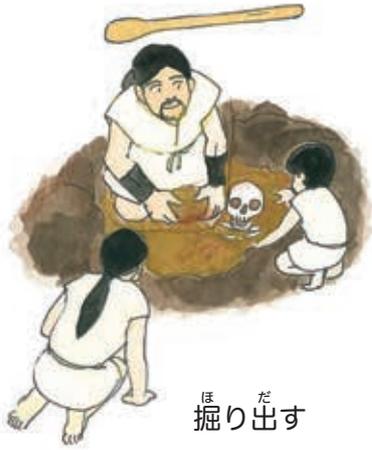


穴の中になくさんのツボを入れている遺構が、再葬墓・お墓だということがわかったのは、1963(昭和38)年明治大学によって岩名天神前遺跡(千葉県)の調査が行われ、ツボの中から成人人骨が発見されたことによります。

◀ 弥生時代再葬墓遺跡の分布  
 設案博己 2008 『弥生再葬墓と社会』 塙書房をベースに作成

「…死者が出ると人々は自分たちの祖先にゆかりの深い泉坂下の地に、墓穴を掘り、遺体を埋葬しました。…」

おまつりをする



このとき、  
ツボで煮て  
共食をした?

P19 参照



全部の骨を  
入れるのでは  
ないらしい

ツボに骨を入れる

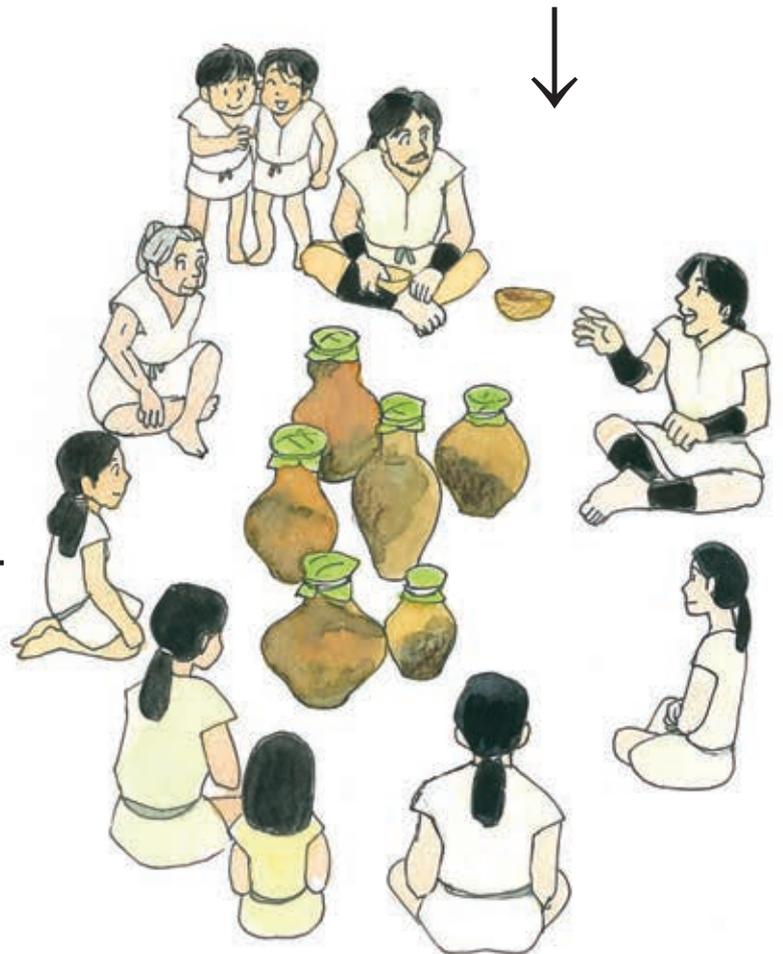
掘り出す

★いつ掘り出すかはわからない



穴を掘ってツボを埋める

★同じ穴に入れられるツボの関係はわからない  
★ツボをねせて埋めるパターンと、立てて埋めるパターンがある



★どんなおまつりがわからない



★埋めた後は、土まんじゅうをつくっていたかもしれない  
墓標として木柱や石などがあつたかもしれない  
泉坂下遺跡 第2号土坑、小野天神前遺跡 第2号土坑、第15号土坑、第16号土坑、第18号土坑では、大きな石が検出されている

# いずみさかした 53 ツボ

いずみさかしたいせき さいそうぼ さいそう つか 泉坂下遺跡の再葬墓からは、再葬に使われた  
 たくさんのツボが見つかったよ。取り上げたす  
 べての土器の中の土を、水洗選別とせいせんべつという方法で  
 なにはい 何が入っているか調べたよ。

## だい 1 号土坑 (SK1)



どき 2 ★

どき 3 ★

どき 4 ★

## だい 2 号土坑 (SK2)



どき 1 ★

どき 2 ★

どき 3

どき 4 ★

せきしよくぶつじつ  
赤色物質



どき 11 ★



どき 12



どき 13



どき 14



どき 15

## だい 3 号土坑 (SK3)



ひょうほん  
標本 K

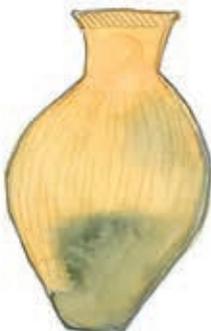
## だい 4 号土坑 (SK4)



どき 1 ★



どき 2 ★



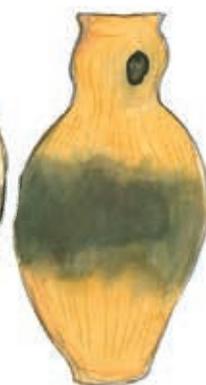
どき 3 ★



どき 4 ★



どき 5 ★



どき 6 ★

## だい 6 号土坑 (SK6)

たまらい 玉類が入っていた



どき 1 ★



どき 2 ★

べつ 別の土器の  
底



どき 3 ★

## だい 1 号遺構 (SX1)



どき 1



どき 4

## だい 26 号土坑 (SK26)



どき 1



どき 2 ★

**ツボは煮炊きに使っていた！** ツボをよく観察すると、外側にスス、内側にオコゲがついているのが多い。どうやら煮炊きに使っていたらしい。ふだんの調理には甕が使われていたはずなのに、なぜツボが？？ 再葬前に、共食のまつりをしたのかな？  
 どうやら「骨壺」として、埋葬専用につくられたわけではない感じ。このオコゲやススからは土器のつくられた年代や何を煮ていたかなど、いろいろなことがわかる（★印は年代測定実施）。

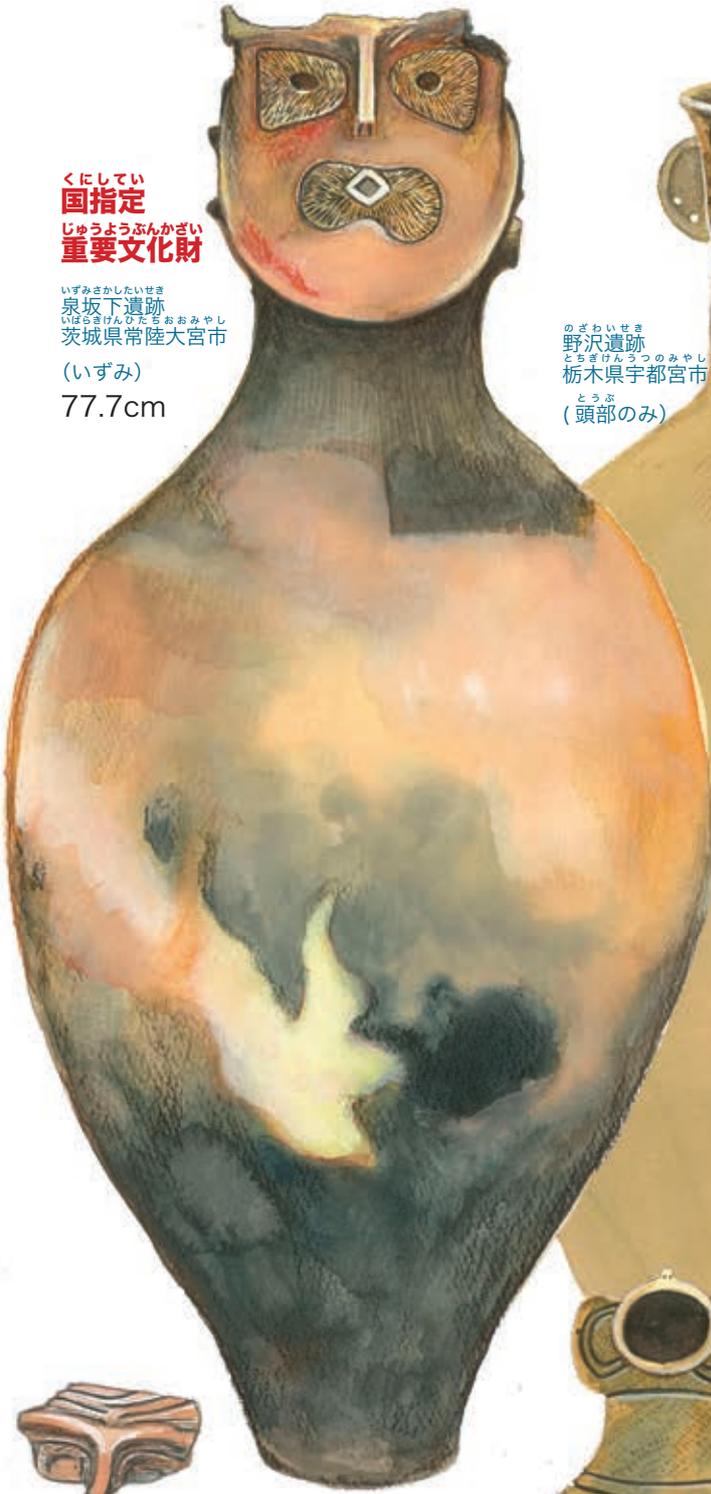


**第5号土坑 (SK5)**  
 赤色物質→分析「パイプ状ベンガラ」



# じんめんつきどき 人面付土器ラインナップ

ヒトのかおがついているじんめんつきどきは、めったにでてこない。さいそうぼからみつかったのは、14遺跡のうち17例だけ。だから、いずみはとっても貴重な存在なんだ！しかもいずみは全体がよく残っていて、その上顔のつくりがすばらしいよね。常陸大宮市ではいずみを含め、4つのじんめんつきどきがついているんだ。何か特別な地域なのかもしれないね。



くにしてい  
国指定  
じゅうようぶんかざい  
重要文化財

いずみかしたいせき  
泉坂下遺跡  
いはらきけんひたちのおみやし  
茨城県常陸大宮市

(いずみ)  
77.7cm



のざわいせき  
野沢遺跡  
とちぎけんうつのみやし  
栃木県宇都宮市  
とうぶ  
(頭部のみ)

おざかたいせき  
女方遺跡  
いはらきけんつくせし  
茨城県筑西市  
68.5cm



ばんじょうちせき  
番匠地遺跡  
ふくしまけん  
福島県いわき市  
(人面部分のみ)

くにしてい  
国指定  
じゅうようぶんかざい  
重要文化財

いずるはらいせき  
出流原遺跡  
とちぎけんさのし  
栃木県佐野市

21.6cm



かくえいせき  
角江遺跡  
しずおかけんはままつし  
静岡県浜松市  
とうぶ  
(頭部のみ)  
※土偶形容器の  
かのうせい  
可能性あり



ふくしまけん  
福島県  
していじゅうようぶんかざい  
指定重要文化財  
とりうちせき  
烏内遺跡  
ふくしまけんいしかわまち  
福島県石川町  
とうぶ  
(頭部のみ)

いばらきけんしていゆうけいぶんかざい  
茨城県指定有形文化財

★3点とも

おのてんじんまえいせき  
小野天神前遺跡  
いばらきけんひたちなかおおみやし  
茨城県常陸大宮市

★3点とも

44.5cm

とうぶ  
(頭部のみ)

このページのイラストは、  
けつそんぶぶん  
欠損部分もイメージで  
ひょうげん  
表現しています。

とうぶ  
(頭部と、胴部  
の一部のみ)

いばらきけんしていゆうけいぶんかざい  
茨城県指定有形文化財

かいごいせき  
海後遺跡  
いばらきけん な かし  
茨城県那珂市

42cm

ぼりよういせき  
墓料遺跡  
ふくしまけんあいつわかまつし  
福島県会津若松市  
とうぶ  
(頭部のみ)

じょうしきめんいせき  
上敷免遺跡  
さいたまけんふかやし  
埼玉県深谷市

47cm

ふくしまけんしていじゅうようぶんかざい  
福島県指定重要文化財

25.3cm

たきのもりびーいせき  
滝ノ森 B 遺跡  
ふくしまけんいらかわし  
福島県白河市

★左右とも

とうぶ  
(頭部のみ)

# ツボはどう使われた？

たくさんみつかった泉坂下のツボ。ふつうツボは穀物などのタネを保存するために使われると考えられているけれど、泉坂下のツボの多くには、ススやオコゲがついていて、どうやら煮炊きにも使われたみたい。どんな風に使われたか、想像してみよう。

## かめ甕とツボ

ちょうり調理には、かめ甕が使われているとかんがえられている



かめ甕



ツボ

ツボはふつう貯蔵用と考えられているのだけれど...

## 貯蔵？

大切な穀物のタネが入っている？

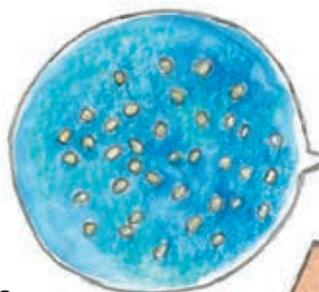
## ツボが つくられる



だんせいじょせい男性女性どちらがつくっていたのか？  
じつ実はわからない。



ロクロはつかっていない。  
きは、めのはの木の葉や布などを敷く。



これじゃあ食べられないよ

## まいにち に た つか 毎日の煮炊きを使う？



つか  
ツボを使うとくべつ特別な料理があったのだろうか？



いづみさかしたせいき だい とうどこう  
泉坂下遺跡の第1号遺構 (SX1) から  
みつかったかめ はへん も、じゅうようぶんかざい  
みつけた甕の破片も、重要文化財だ  
(図は復元イメージ)。



だい とうどこう  
第26号土坑 (SK26)



だい とうどこう  
第26号土坑  
どき  
土器 10



## どき 土器に「あと」が のこ 残っている

だい とうどこう  
第26号土坑から  
みつかったどき 10のひょうめん  
みつけた土器10の表面に  
モミのあとが残っていた(△の  
印がついているところ)



## タネを まく

いづみさかした  
泉坂下では、どんなさくもつ づく  
植物などを調べる方法として、土器にくっついてい  
る「圧痕」  
を型にとって調べる「圧痕レプリカ法」という方法があるよ。  
どき ひょうめん わ くち だんめん かんさつ  
土器の表面や割れ口(断面)をよーく観察すると、タネやムシの跡  
がくどう のこ  
が空洞に残っている。そこに、シリコンをい  
れてみると、もともと  
のかたち かんさつ かんた なん  
の形がよくわかるんだ。その型から何のタネなのか、ムシなのか、  
けんびきょう かんさつ しら しゃしん どき あっこん がつ  
顕微鏡で観察して調べるよ(写真の土器10の圧痕のシリコン型は  
P5を見てね)。

コムギ、オオムギ、イネ、  
アサ、マメ?など

## さいそうぼ 再葬墓のおまつりで に た 煮炊きした?

ツボの中のおコゲをしら  
木の実や動物を調理していたらしい  
ことがわかったよ。



みんなで  
いっしょ なに  
一緒に何か  
た  
食べたのかな?  
きょうしよく  
(共食)

さいそうぼ  
再葬墓のツボは、  
さいそう  
再葬のためにつくられると  
かんが けんきゅうしゃ  
考える研究者もいる。

## まいそう 埋葬する

